

事務事業 No./名称	□サービス部門 経企-11 秘書・式典事務 ■支援部門					ザイムスコード及び個別事業名		
	550 秘書事務 551 交際費事務 554 市政功労者表彰事業 555 頌徳会運営事業 555 賀詞交歓事業 1158 名誉市民事業							
主管課	秘書課		関連課					
分野名	行財政運営							
目標 (目標値)	新春のつどいの参加者増。顕彰事業の充実。交際費の効率的な運用。超過勤務の縮減。 超過勤務手当年間一人あたり300千円							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	13,633千円	31,326千円			指標と評価		
	(国・県)					指標	新春のつどい参加者	
	(負担金等)					評価	◎	
	(一般財源)					◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	6.0人	6.0人			目標値	実績値	
	人件費	55,449千円	56,053千円			20年度	400人	405人
	協働の パートナー					21年度	410人	415人
事務事業 運営経費	総事業費	69,082千円	87,379千円			22年度	420人	
	市民1人当 りの経費	391円	495円			23年度	430人	
	対象者1人 当りの経費					最終年度 (23年度)	430人	
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較 値)	団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市		
	交際費予算額 (近隣市)(千円)	2,810	500	5,865	3,700	0		
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・平成20年度の名誉市民選考委員会において、市民栄誉賞の創設について話題となったため、検討する必要がある。 ・平成21年度は市制施行70周年の節目にあたるため、記念事業やレセプションの実施を検討する必要がある。						
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・市民栄誉賞の創設については、県下各市の状況を調査し、名誉市民選考委員会において、創設に向け検討している旨の報告を行った。 ・市制施行70周年記念式典を11月3日に開催し、市政功労者の表彰、記念講演、愛唱歌の発表などの記念事業を実施した。						
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・市民栄誉賞の創設については、選考基準や選考方法など制度の詳細を県下各市の状況を踏まえながら精査していく必要がある。 ・名誉市民の平山郁夫氏、蓮田修吾郎氏が逝去されたことに伴い、市として相当の礼をもって弔意を表すため、追悼展と偲ぶ会の実施を検討する必要がある。						
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・市民栄誉賞の創設については、具体的な制度の骨子をまとめていく。 ・名誉市民の追悼展と偲ぶ会については、平成23年度予算策定にあたり、ご遺族とも相談しながら検討をすすめていく。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	新春のつどいや市政功労表彰については、参加者の増や積極的な表彰を心掛けていく。市民栄誉賞については、創設に向け、具体的な制度の骨子をまとめていく。			評価結果	改善の必要性	新春のつどいについては参加者の増を図り、表彰については、市民の励みとなるよう積極的に表彰していく。事業の効率化については、経費節減を含め、今後も推進していく。市民栄誉賞については、創設に向け具体的な検討をすすめる。	
B	有				B	有		
課長名		秘書課長 奈須 菊夫			部名・部長名		経営企画部長 瀧澤 由人	